



制作中...

ダンジョン地下12階





全く…  
どこまで進んでも  
雑魚ばかり!

もっと歯応えのある  
やつはいないのか!?

もう終わりか…

キッ

この階層の敵も  
大したことなかったが…  
どうにも依頼の内容と  
敵のレベルが合わないな…



とはいえこのまま  
雑魚を狩り続けても  
進展はなさそうだ…

それなら少し  
ヨイツを泳がせて  
みるとするか



ん…逃げたな  
だが気配は追える

よしよし…  
では親玉のところだ  
案内してもらおうとしよう





X<sup>||</sup>  
A  
A

A  
A  
...

7

7  
7  
...

くっ…狭い…!  
面倒なところに  
逃げ込んでくれたな…

だが事前にもらった  
マップにはこんな通路は  
記されていなかった

この先から  
濃い魔獣の気配も  
強烈に漂ってきている

どうやら当たりか  
このまま進んでいけば…

グ  
グ

千  
イ



ん？なんだ…先ほど  
逃がしてやった魔獣か

ここまで案内  
ご苦労だったな  
だがもうお前は用済み…

さっさと潰して  
先に行かせてもらおうか

ズルルル…

ビチャッ



このコイツ...  
何を...

ヒッ  
ッ  
ッ

ひゃっ  
っ  
っ

ッ  
ッ  
ッ

ッ  
ッ  
ッ

ちゅんっ

んつく…  
この！やめろ！  
そんなところ…  
グリグリ…するな！

まずい…！  
通路が狭すぎて  
うまく身動きがとれない！

ズリ

ググ

ズズ



なっ!しまった!

他にも潜んで  
いたのか!

キュルツ

私としたことが  
こんな低級魔獣の  
接近にも気づけないなんて……!

とにかく一度  
態勢を……!

キュルツ

キュルツ

んん…っ!?

なっなんだ!?  
コイツ…急に  
振動して…!

んんんんんん  
んんんんんん

やめっ!ん!そんな…  
秘部と陰核を同時に…!くう…!  
早く…離れなくては…!

こんな通路でなければ  
この程度の拘束  
すぐにでも抜け出せるのに…!

キ

ギギギギギギ  
ギギギギギギ  
ギギギギギギ  
ギギギギギギ

ギギギ  
ギ

ギ

まっまずい!  
振動が強くなって……!

そんなんっ……だめだ!  
い……い……かされる!!  
こんな雑魚魔獣に  
対魔忍たる私が……!!

だめだ!  
いつてしまったら!





ゴゴゴ

whack.

パッパッ

パッパッ

んぎんぎん!  
んんんん!!

ゴゴゴ

パッパッ

ゴゴゴ

はあっはあっ…  
ぐ…このお…

よくもこのような  
屈辱を…今すぐにでも  
地獄の如き苦痛でもって  
償ってもらおうぞ！

ぐわっ…  
ぐわっ…  
ぐわっ…





なっ…  
後ろからも…!!

次から次へと  
数だけの低級が…  
これ以上調子に乗らせて  
たまるものか!

ギッ  
ギッ

ビッ

ユッ

ビッ  
ビッ

ド  
ド  
ド





とにかくまずは  
この手足の拘束を  
外さなくては！

所詮は不意打ちしか  
できない低級魔獣！  
こんなもの力づくで...！

グ"グ"グ"ッ...

ニユウ...

ギギ

ニユウッ

ギギ



ガッ

ガッ

ガッ

ハッ

ツッ

!!

ハッ

ツッ

ズッ

こ…今度はなんだ？  
陰核に何か刺さって…  
打ち込まれた？

毒か？だとすれば  
早く浄化しなくては…！





やんひひひひん!!  
やつやめーんぎ!

ビクッ  
カッ  
カッ

ビクッ  
ビクッ

さつきイカされて  
敏感になつてるのに!  
し:しごくなあ!

カッ  
カッ

お：落ち着け私！  
ただ陰核を…体の一部を  
いじられたくらいで  
何を取り乱しているんだ！

こんなもの…  
少し精神統一して  
気持ちを静めれば…！

ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア





びびっ

んあっ!!  
なんだ? お尻?

お尻の穴に  
何か当たって...?

っ

ぽん

パイ  
ちゅっ

びびっ  
びびっ





こいつっ！そんな…  
お尻の穴にだなんて…！  
一体何を考えて…！

いや…そんなことは  
考えても仕方ない！  
これ以上何がされる前に  
コイツらを…！





なっ…なんだ…今のは!!  
お尻の穴…引っこ抜かれると  
す…すごく…!!

だっだめだ!また!  
陰核…クリトリスも…  
しごきながら…そんな…  
されたらあ…!!

ビクッ

ビクッ

クッ

クッ

〇〇



おほおほおほおほおほ!!

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん



んぎょひう!  
んっふっ! ふっ!  
こんな...の...知らない!

クリトリス...シコシコされて...!  
お尻の穴...!ズボズボされて!

お尻...こんなに  
気持ちいいなんて...!  
だめ!またイカされる!  
お尻でイっちゃう!!



びしょ

びしょびしょ  
びしょびしょびしょ  
びしょびしょびしょびしょ

びしょびしょびしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ



はあはあ…  
うう…こんな…  
低級魔獣に二回も…

しかも…  
お尻でだなんて…!!

こんなこと…  
絶対に許さない!  
今すぐお前たちを…!!



床が傾いて...!!

へっ? 何?



カマ

カマキリ



この…!!  
離せ!!

先程から  
不意打ちばかり…  
後れをとる  
私も私だが

調子に乗って…  
今度はこのような  
屈辱的な格好…!!



早く抜け出したい  
ところだが……

ここまでのいじられ  
続けたクリトリスが  
妙な疼き方をして……

か……体に力が……!





なっ…なんだ？

う  
何をする  
つもりだ…！

よせ！近づくな！  
そこは…！



んんっ…!!

だっだめだ!  
今…そこをいじられたら  
ただでさえ爆発しそうだった  
快感が…抑えきれなく…!!

とにかく…こいつが  
エスカレートする前に  
倒さなくては…!!

びびっ  
びびっ  
びびっ

びびっ  
びびっ  
びびっ

んうっ……くう……！  
先程のようには  
いくものか……！

こいつらも同じく  
低級な魔獣の集合体

拘束している触手も  
大した力はない

ここは多少  
無理をしてでも……！





カズクで.....!!

カズク

カズク



くひいん!!  
ぐっ...や!やめ!

そんな吸いつきながら  
激しく舌で舐られたら!!

おっ...おかしくなる!  
クリトリスが...  
快感で爆発しそうだ...!!

だめだ!だめだ!!  
これ以上は...もう!!



はうっ!!  
今度はなに!!?

クリトリスが  
へ...変だ...!!

実際なく溜まってきた  
快感が...行き場を失って  
クリトリスの中で  
大きくなって...!!

昇ってきてる!!  
何かが...体の奥から  
クリトリスに向かって...!!

くっ...来る!  
ク! イっっちゃう!!





あああああつちっ！！



なにななる...  
何だこれは!?

まさか...  
と...殿方の...!

どっ...どうして  
こんなものが私に...!?

びび  
びび

びび  
びび



ドッ  
グッ

んっやめる！  
そんな汚いものを  
巻きつけるな！

まさか先ほど  
クリトリヌに何か  
刺さったときに…!!

えっ  
フッ



んひっ!?

こっ…これ!やばい!  
クリトリスの時の  
比じゃない!

男根全体を  
魔獣のぬめった舌で  
シロシロされるの:  
きつ!気持ちいい!!

ヒッ!ヒッ!

ほっ?!  
今度は何?!

お尻の奥のほうから  
何かが男根に向かって  
一気に昇ってくる!

快感が!!  
気持ちいいの塊が  
昇って……!

腰っ跳ねちやう!  
来ちやう!

昇ってくる!イク!

イクイクイクう!!

カカ

カカ

カカ

カカ









グゴ...

くそ...よくもこんな  
おぞましいものを...

はあ!! はあ!!  
そんな...射精まで  
してしまっなんて...

びびっ

びびっ



だが…今の射精で  
快感に飲まれそうだった  
頭が冴えてきた！

今なら…  
抜け出せる!!

やあ！

せえい！！

よくも誇り高き  
退魔忍たる私に  
あのような屈辱を  
くれたものだな！

このお返しは  
たっぷりさせてもらおうぞ！

グ  
カ  
カ  
カ  
ツ

んひっ  
っ  
!!

なっ…なんだ!!  
体を動かすと  
男根がスーツに  
思いっきり擦れて…

その度に力が  
抜けそうになる!

ぶ  
る  
ん  
ん

くうっ!  
なんだ…この  
むずがゆい感覚は…!

これでは戦闘に  
集中できない!

こいつらを倒したら  
一度なんとかしなくては…

ビュッ

ぶる  
ぶる  
んん





はあっ...はあっ...  
なんと厄介な...

と...とにかく  
次の敵が集まっ  
来る前にどうにか  
鎮めなくては...

グイン...

グイン...  
グイン...



んっ…  
さ…先程は確か…  
触手にしごかれて…  
精液を出した後

幾分か治まって  
反撃に打って  
出られたのだから

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

ア  
ア  
ア

も…もう一度アレと  
回してをすれば…

ズ  
ズ  
ズ

んみつ…!!  
う…くふ!  
そ…そうだ…  
この感じだ…

この男根からの  
妙な刺激で  
腰が勝手に浮いて…

な…何かが…  
昇…てくる感じ…!!  
は…早く済ませて…  
次の戦闘に備えなくては…!!





ふんぐっふんぐっふんぐっ！

しかし……  
不覚をとったとはいえ  
こんな敵地のど真ん中で  
勝手に生やされた  
男根をしごくな……

対魔忍にあるまじき醜態……  
この雪辱……必ずや……！





うあつぱやつ...  
きつきた!また!

奥から昇って!

ビーン

ビーン

ドク  
サユ

ビーン



いんじゅー!!!  
イク!イク!

ふん

トシタッ  
ビッ

はあ…はあ…  
まだ収まらないのか…

こ…これではまだ  
戦闘はままならないな…

仕方ない…  
も…もう少し…  
出しておくか…



はあっはあっ！  
んふっ……んふっ……

んっ……し……  
仕方ないんだ……  
これはやむを得ない  
あくまで必要な処置だ

決して……  
男根の快感に  
従っているわけでは……  
んっ……断じて……！





グッ

ビュッ

キュルル...

んふっ！ふっふっ！  
んっ！きた！また！  
せつ！精子昇って！

このままイク！  
ちんぽシコシコで！

ハッ  
ハッ

キュル

アッ

イクイクイクら！！

ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ



射精するう！

おほお！イクう！！

ふん

トビタツ  
ビタル  
ビタル

ビタル  
ビタル  
ビタル

ビタル

ビタル



ドグネッ

え...!!

まっ魔獣!!

しまった!  
囲まれて...!

わ

わ



な…何をしてるんだ私は…  
男根をしごくのに夢中で  
索敵を怠るなど…

急いで脱出  
しなければ…!!

グググ…

グググ

グググ





はうっ!!

なんだ!!  
どうして急に...  
お...おなかが...

だっだめだ!  
こんなところで  
出すわけには...!!  
我慢しないと...

はうっ!!

びびる

びびる

びびる

毛ノオ...

ち...違う...これは...  
おなかの中で  
何かが暴れてる...?

さっきお尻に  
注がれたときに何か  
混ざっていたのか!  
それがおなかの中で  
成長して...?



ぐっ…くそ！  
コイツ…勝手に  
出ていこうと…！

お尻から魔獣を  
排泄するなんて…  
絶対…嫌だ…！！  
出してたまるものか…  
絶対に…！！



んんんっ！  
だっだめ！これ！さっきと同じ！  
お尻から魔獣が抜けていく  
気持ちよさに…耐えられないい！

しっしかも！  
なぜかその快感が  
ちんぽにも伝わって…！！

嫌だ！魔獣排泄なんて…  
したくないのにい！



ほほ おお おお おお!!

だめ!!だめだそんな!  
暴れて!お尻の穴!!ほっ!  
広げたら!おかしくなる!

ちっ...ちんぽ!  
ちんぽにもピンピン  
響くうう!!



でっ…  
出るう！

んぐっ…さ…  
ちよ…ちよつと…  
イっちゃった…！  
また…お尻で…



はあっはあっ…  
よ…よくも人の  
おなかで勝手に…!

すぐ…  
後悔させて…







ひっ!ちよっと!  
何をするつもりだ!?

そこはだめだ!  
今お尻いじられて  
敏感に...!

ギョッ  
ギョッ  
ギョッ

グッ

グッ  
グッ  
グッ

ギョッ  
ギョッ

ギョッ  
ギョッ



んんいいいり!!  
くっ! やあっ...  
魔獣のあったかい回  
ちんぽ包まれて...!  
ちっ...ちんぽが!

ちんぽが!  
ちんぽが!  
ちんぽが!

ちんぽが!  
ちんぽが!  
ちんぽが!

ビクビク

って：馬鹿！  
何を考えているんだ私は！  
ちんぽのことなど  
今はどうでもいい！

さっさとこの雑魚たちを  
振り払って反撃するんだ！



ビクビク



まずは精神を  
落ち着かせ……





ほっ? おっり!!

なっ...そんな!  
たった...ひとしごきでっ!  
魔獣のあったかい  
いぼいぼのお口でっ!

イク!  
早漏ちんぽイクう!

ビク

ビク

ビク  
ビク  
ビク



イツゴウウ!!

んぎっ...ひぐう!!

キッ

キッ

キッ

キッ

ドッ

はーっ…はーっ…  
くううー！また…私は…！！  
だ…だが！一度射精したことで  
頭も冷えてくる…！！

決してこんな  
ちんぽの快楽に  
流されたりなどしない！



ビクビク...

ビクビク...

んんっ!?

ちよっ...ちよつと!!  
い...今ので終わりじや...?

それにちんぽの  
勃起も治まってない!!  
待って!あんなの  
またされたら!







ちんぽイク！精子くる！  
赤ちゃん魔獣のお口しごきで  
ちんぽ射精するうう！！

ちんぽ…

こんなちんぽさえ  
なければ！ちんぽさえ！

ふっふーっ…！！  
くそ！こんな！  
こんな生まれただばかりの  
雑魚魔獣にいいようにされて！





ひぐー! ひきゆう!!  
ちんぽ  
イクイクう!!

キッ  
キッ  
キッ

ビュッ

バッ  
バッ  
バッ

キッ  
キッ  
キッ



ふっつんぐんぐん...  
しやせいら...とまんな...

どんどん出るう...  
出し尽くすう...!!

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ  
ビュッ

ビュッ  
ビュッ

グッ  
グッ  
グッ

グッ  
グッ  
グッ



ぬっ…抜けた!!  
どうして?

!?

びりびり

びりびり

びりびり

びりびり

グ  
イ  
ッ

?...苦しそうに  
のた打っている!!  
もしかして私の射精の量が  
こいつの容量を上回った?

いえ...考えるのは後!  
この隙に...!!

ビ  
ッ  
ビ  
ッ  
ビ

グ  
ッ  
グ

グ  
ッ  
グ  
ッ  
グ  
ッ  
グ



はあっはあっ  
どうだ！思い知ったか！

お前達程度の低級魔獣  
私にかかればこんなものだ！



ん…しかし…  
こらっらの狙いは  
どうやら私の精液らしい…

ここからは極力  
射精だけは我慢して  
いかなければ…

ポ  
ン  
ッ  
ン  
ッ  
ン  
ッ

ン  
ッ  
ン  
ッ

ン  
ッ  
ン  
ッ





んっく…  
下の層の魔獣の巣窟を  
避けるためとはいえ…

こんなところを  
渡るしかないなんて…!

イッ  
キ



いえ…文句も  
言っではいられない  
この天井付近の触手は  
活動がかなりにぶい…

ストツ

ググ

気配を消して  
気づかれずに渡り切れば  
無駄な消耗を大きく  
避けられる！

ズ





そのためにも……!!

ビュッ

ビュッ

んっ!

アッ

グ

ッ

射精だけは  
絶対に我慢しないと！

私の精液が  
狙われている以上  
射精すれば間違いなく  
気づかれる…

ビクッ

ハッ

ビクッ

ビクッ

グッ

ぶる

グッ

それにしても  
この丸太のような触手…  
表面にびっしり生えたつぶつぶが  
男根をくまなく包むように  
刺激して…

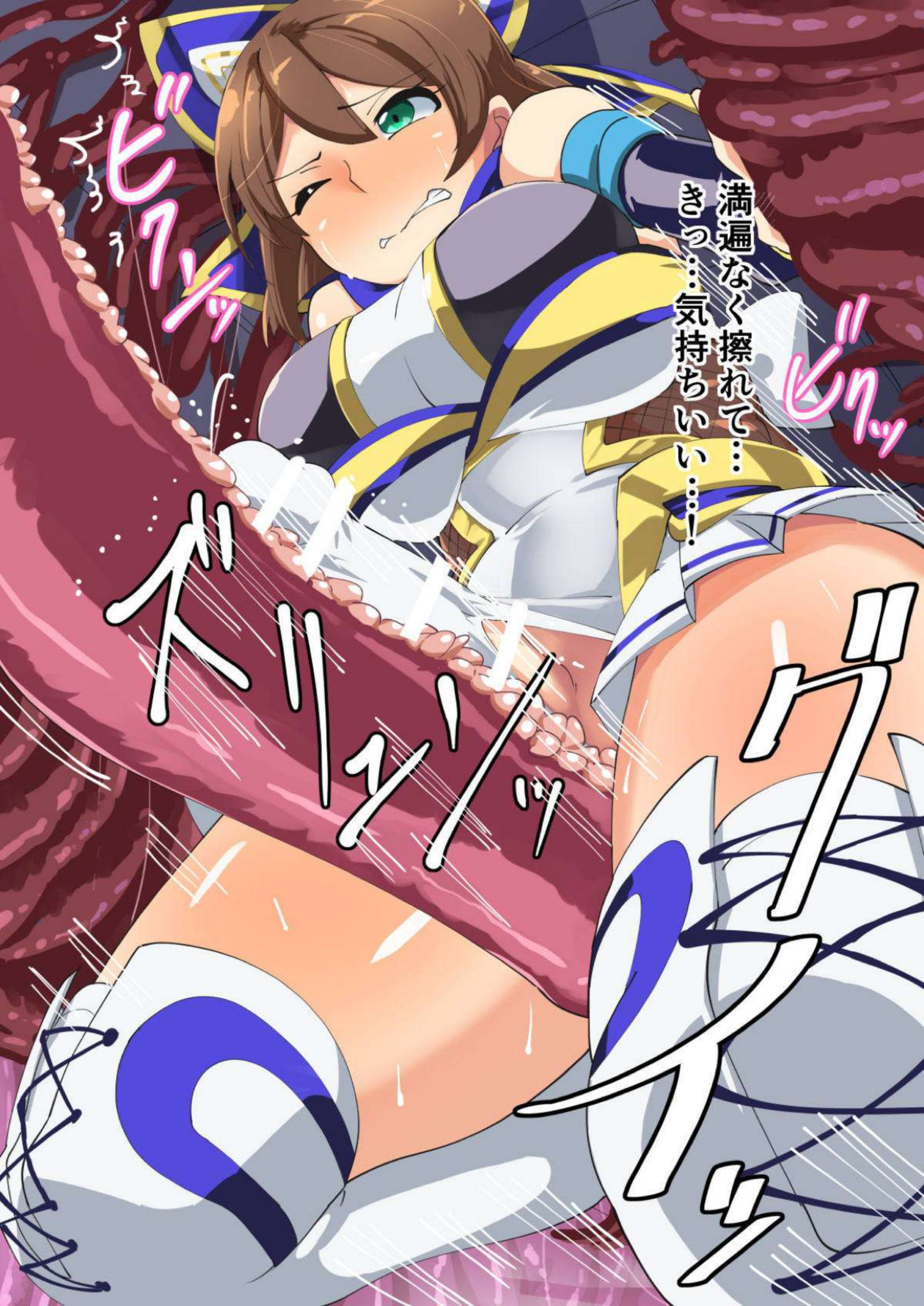
ストツ

ググ

しかも…自らの体重で  
押しつけながら  
進むせいで…

ズ





満遍なく擦れて…  
きつ…きつ…気持ちいい…!

ビッパッ

ビッパッ

グッ

グッ

グッ

はうっ!  
しまった!

少しでも気を緩めると  
男根の快樂が  
脳裏をよぎってしまう!

だめ!絶対に  
イってはだめ!  
我慢がまんっ!



んんんんんんっ！  
全身の動きを…止めて！

少しでも…刺激を  
減らしてえ…！

たっ…耐えろ！  
昇ってくる精子の波を  
押さえつけるんだ！





はあ……はあ……  
あ……危なかつた……

あと少しで  
出てしまおうところだった……

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ



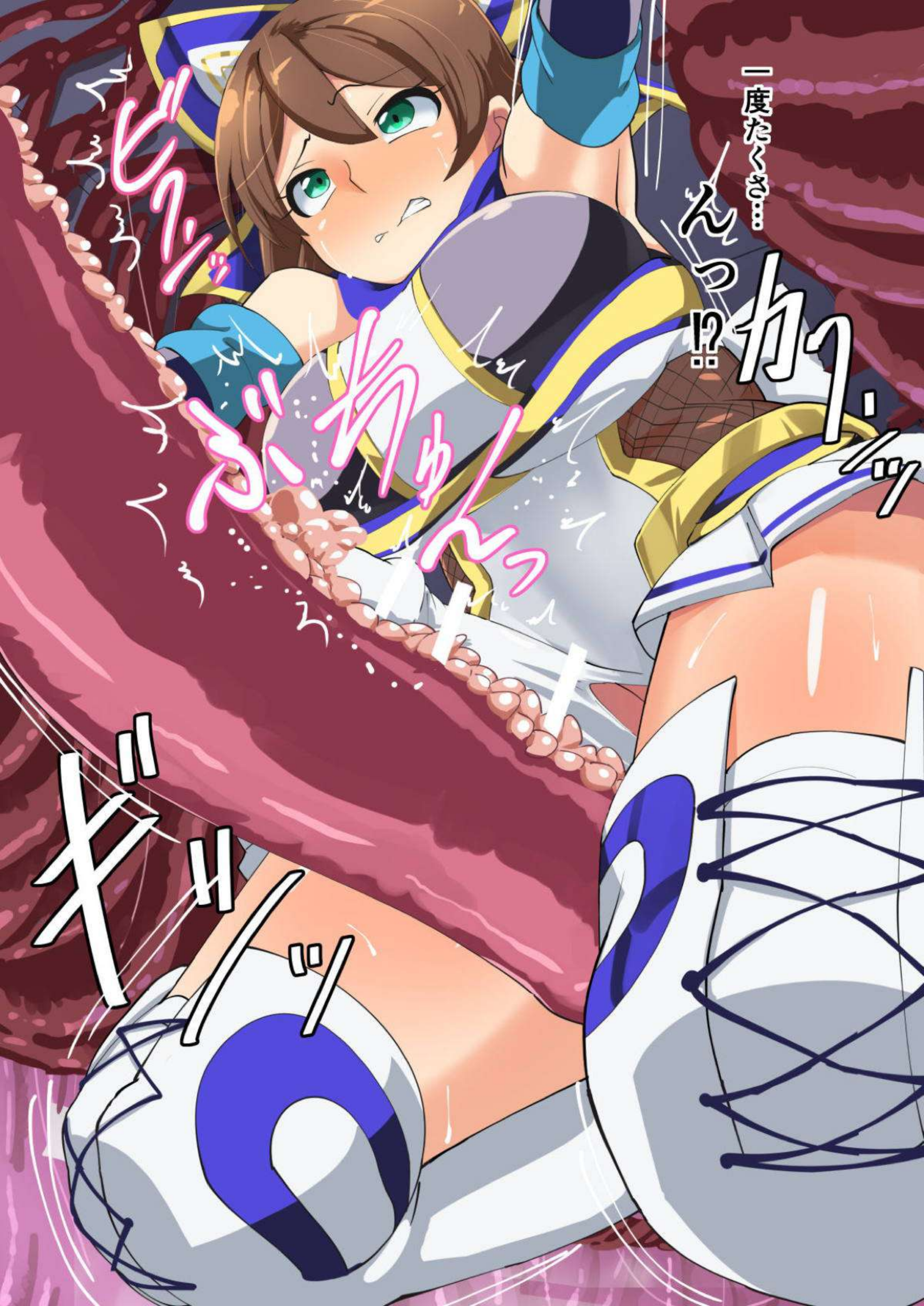
スト

ふう…ふう…  
あと…少し…  
あと少しで向こう岸だ

ググ

それで自由に動ける  
スペースを確保して  
すぐに魔獣が襲ってきても  
大丈夫そうなら…

ズ



一度たぐさ...

んっ  
!?

かっ

んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ  
んっ

んっ  
んっ

んっ  
んっ

なっ…なんだ!?!  
なんでここだけ  
出っ張りが…

グッ

グ  
グ

グ  
グ

ふちゅっ

ふちゅっ

ズ

ズ

くつくそ!  
男根の先っぽが  
丁度はまって…!

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ

ぐっく…  
あと少しなんだ!  
はっ…早く体勢を  
ずらして…っ

ぐっ…丸太触手が  
不安定で…力が  
入れづらい…!

向こうについて  
体勢さえ整えれば  
いっぱいシコシコできるから…  
は…早くうう!!



くひっ! あ...っ  
ぼっ馬鹿私!  
今ちんぽのことなんて  
考えたら...さつき抑え込んだ  
射精の波が...!

カッ  
カッ  
カッ

ふっ  
ふっ  
ふっ

はっ...早くいかっ  
イかないと! イク!  
向こう岸! イク!  
ちんぽイクら!!

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ





ヒクヒク

ひびくひびく

ヒクヒク

ヒクヒク

いっぱい我慢ちんぽ  
いぼいぼ触手に擦れて  
イクウ!!

ヒクヒク

ヒクヒク

ヒクヒク

ヒクヒク







ひやあつ!!

や...やっぱり  
集まってきた...!

びびびびびび

びびびびびび

くう...どうしてあと少し  
我慢できなかつたんだ...!

ズル

ズル

ズル

まずい…完全に  
囲まれている…  
一体一体が力の弱い  
低級でもこれほどの数が  
集まってしまうと…

たぶっ

ぶっ

びび

びび

けれど…  
男根が萎えて集中力が  
戻っている今が  
またとないチャンス  
少し癪だけど  
今は逃げることにだけに  
すべての意識を…





おっ...おお尻!!  
な...んでえ...!!

ひいっ!!

わっ!!

ひい!!

ひい!!



ヒッパッ

ヒッパッ

うぐっ...んっ...  
やだ...何この感じ?

まるで...直接  
男根の真芯を  
えぐられるような...  
うそっ...またちんぽが...

ゴッ

グッ

ガンッ  
ムッ  
ムッ



んんんんんっ！  
何これ何これえ？！

お尻から…無理やり  
精子…押し出されて…！  
うそ！触ってないのに  
イっっちゃうり！  
ちんぽイっっちゃうり！

グッパッ  
グッパッ  
グッパッ

グッパッ

グッパッ  
グッパッ  
グッパッ  
グッパッ  
グッパッ



ひっ……  
イクッ!!

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ゴッ  
ゴッ  
ゴッ

ビュッ

はあ...はあ...  
そんな...こんな  
簡単に...私のちんぽ...  
どんどんイキやすく...

だめっ...気をしつかり  
もたなくちや...!

ブル

ブル  
ブル





ひっひっひっ...  
なに？乳首？！

まっまた  
おかしなものを...！

ひっひっひっ  
ひっひっひっ

トッ

ひっひっひっ  
ひっひっひっ

ひっひっひっ  
ひっひっひっ



あぁ?! 熱い!  
乳首が...! 胸が!

胸の中で  
変な感じが  
どンドン膨れて...!?

ククク

グググ

ドク

カク





んんんんん

きん

きん

きん

はっ...あ...  
な...んだ...これは!!

私の胸が  
こんなに大きく!!

だ  
ん  
ん

ズ  
ズ  
ズ



くぅ〜…!!  
人の体を  
好き勝手弄んで…

グ  
ツ

これ以上くぅ〜の  
思い通りに  
なるわけには…!!

グ  
グ  
ツ

ト  
…

ア  
ツ



おほおおおおお!!

ちっ...ちくび!  
やめ!それっだめ!

ビッ  
グッ  
ギッ

ギッ  
グッ  
グッ

ビッ  
グッ  
ギッ

ギッ  
グッ  
グッ

ギッ  
グッ  
グッ

なんで…  
乳首いじられただけで  
こんな…!!

これ…やばい!  
パンパンに張った乳首  
グリグリ煽られるの  
きつ…きもちいい…!!





ヒューンッ

ほっ!!  
今度は何?!

ビンビンの勃起乳首に  
触手が巻き付いて...

グッ  
グッ  
グッ

グッ  
グッ  
グッ



んおおおおおおおおお!!

乳首シヨシヨ

きたあ!!

ビクッ

ちんぽみたいに  
勃起乳首も  
シヨシヨされて...  
感じすぎるう...!

ビクッ

ビクッ

ビクッ



やだ！くる！  
体の奥から快感の波が  
一斉に乳首に向かって……！！

乳首イク！イク！  
乳首いきしちやうう！

ビク ビク

ビク

ビク

ビク

びく びく

びく びく



おほお!  
イツクウ!

イビュ  
イビュ

イビュ  
イビュ

お...おおろ...  
ん...ん...ん...

ヒッヒッ

ち...ちんぽだけじゃなく...  
乳首でもこんな  
はしたないイキかた...

まずい...も...  
戻れなくなるう...

ヒッヒッ

ヒッヒッ

ヒッヒッ

はあ：はあ：  
一体いつまで  
このようなの！

それに先ほどから  
いくら出しても  
ちんぽの勃起が  
治まらない！

ビク  
ビク  
ビク

だ  
ぶ  
ん





ヒューッ

ドロオ

びしょ

ひりっ！冷たっ！  
乳首とちんぽに！  
こ...これは？

ん？ん？  
やい何！

かゆい！

妙な液体のかかった  
箇所がどんどん痒く……！



うあつ…  
やめる！

また私の  
勃起乳首をシコシコして  
母乳を絞る気だな？！

グ  
イッ  
おルッ

はあつはあつ…  
そんな攻めに…  
わ…私は決して…







んんん〜っく〜  
屈したりなど〜!!

ぜったいさあさあさあ〜

ヒクッ

ヒクッ

ヒクッ

ヒクッ

ヒクッ

く……なんて卑劣な！  
おつきくなつて感度が増した上に  
変な液体で痒くなつた  
乳首シロシロ攻撃なんて！

こんな気持ちいいの  
いくら退魔忍たる  
私であっても  
耐えられるわけが……！

悔しい！また簡単に  
イカされるらう！





イツ……くう！

おっぱいびゆるびゆる  
しながらまた！  
乳首だけでイクう！

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

はあ…はあ…  
おのれ…私の胸を  
散々弄んだとなれば

次は当然この  
今にも破裂しそうな  
勃起ちんぽを狙う気だろう…!

ぶろん

ぶろん

お前たち低級魔獣の  
浅はかな考えなど  
お見通しだ!

はあ  
はあ





えっ？  
うそ！なんでまた  
おっぱいに……！

それになんだ  
この妙な形状の触手は？

ポッポッ

ポッポッ

キッ

グッ  
グッ

グッ  
グッ

んひひひひひ!!

やっすすすすす!!  
乳首ギニポギニポ  
されると……!!

ギッポ  
ギッポ  
ギッポ

ギッポ  
ギッポ

ギッポ  
ギッポ

おっぱいの中の  
気持ちいいのが  
乳首に向かって  
引っ張りあげられるう!!





ヒクッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

ギョッ

乳首からららららら  
きもちの  
びゅーびゅー  
いつちやういつちやう

ひぐらう!  
またいつちやう!

んんんんん

おほおおおおおおお!

母乳が乳首  
突き抜けるうう!

えっちなお汁吹き出すの  
気持ちいい!

ビュルルルルル

ビュルルルルル

ビュルルルルル

ビュルルルルル





はーっ…はーっ…ぐっ…  
き…きもちいい…けど  
まだ…ちんぽが…

ちんぽがかゆい！

おまけに！乳首が  
気持ちよくなるほどに  
ちんぽの中にもどんどん  
気持ちいいのが溜まってらーっ！





くう! ちんぽ!  
ちんぽ思いつきり  
シロシロしたいい!!

かゆいのも  
気持ちいいのも限界!  
おかしくなるう!

ぶるん

ぶるん

はは

か

か

か

か

はらうっ!?  
きつ...きた!

そ...そうだ! かかってこい!  
私のちんぽはお前のような  
低級な魔獣になど  
決して負けたりしない!

さっさとその汚らわしい口で  
私のちんぽを  
飲み込んでみせる!





はっ...はっ...!

ど...どうした! そんなものでは私をイカせることなど!

くっ...何のつもりだ!  
そんなねちっこく...  
先っぽばかり...!

あふふ

ぬぷ

ぐ

び

カカ

カカ

カカ

ちんぽ!ちんぽせつなび!  
どうして一息に  
飲み込んでくれないんだ!!

まじ…まさかこれ…  
私を焦らして!!

私からおちんぽおねだり  
するのを待っているのか!!

おちんぽ  
ぬぶ

おちんぽ

おちんぽ

おちんぽ  
おちんぽ  
おちんぽ

おちんぽ

そ…そんな!  
退魔忍の私が低級魔獣に  
おちんぽおねだりなんて…!!  
ああでもちんぽ!  
かゆみが…快感が…!!

おちんぽ  
おちんぽ

うあああああり!!

やめ!やめろ!  
今はだめだ!  
今乳首気持ちよくなされたら!

ギョポ

ギョポ

ギョポ

ギョポ

ちんぽイケないのに!  
これ以上気持ちよくなったらあ!



んんん~~~~~！  
だめえ！ちんぽ我慢できないうら！

これ以上むりら！  
悔しい！のにはら！  
もうちんぽのことしか  
考えられなくなるう！

あぶ

ぬぶ

ギョギョ

ギョギョ

ギョギョ

ちんぽ！ちんぽ！ちんぽきたら！  
射精したいいら！  
もう…限界~~~~~っ！





お願い！  
ちんぽイかせてえ！

かゆみ限界の  
勃起ちんぽ思いっきり  
飲み込んで…！！

ぐっぐつの精子  
どっぴゅんさせてえ！！





グ  
グ  
グ  
グ  
グ



んほおおおおお!!

ほおおおイク!イクう!!

ビュッ

ドクダ

ドクダ

ビュッ

ビュッ

精子爆発するう!!





はあああああ...  
やっと...イけたあ...

きもちよすぎるう...!!  
ちんぽの快感  
叩き込まれちゃうう...!!

るるる  
しゅ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

んぐふうううう!!  
そんな!休みなしで  
第三ラウンドなんてえ!

じゅぶ

じゅぼ

じゅぼ  
じゅぶ

ヒツツ

いったばかりの  
敏感かゆみちんぽに  
本気触手しごき  
気持ちいい~~~~

かか

か

んひひひひ!!  
乳首もぎたあ!

退魔忍シズクの弱点  
三か所同時責めなんて!!  
逆らえないひひ!!

しゅぽ  
しゅぽ  
しゅぽ

ピクピク  
ギョギョ  
ギョギョ

カカ  
カカ  
カカ



ほおおお！来る！  
来ちゃうう！  
マックスの快感が  
それぞれの出口に向かって！

イクイクイクイクイクイク  
乳首もちんぽも一緒に  
イクううう！







はーっ  
はーっ  
イクのーっ

またーっ出るっ  
ちんぽはかた  
なっちやうっ



あ……またあ……

奥まで  
飲み込んでえ……



*END*